

## 第 1 7 回 沖縄県のがん対策に関するタウンミーティング 報告

テーマ『沖縄県がん対策推進計画（第 2 次）中間評価－在宅医療について－』

1. 日 時：平成 2 7 年 1 1 月 1 5 日（日） 1 3 : 0 0 ~ 1 6 : 0 0

2. 場 所：浦添市てだこホール 生涯学習棟 2 階 多目的室 1

3. 参加人数：1 6 名（一般 6 名、医療関係者 8 名、政党・自治体関係者 2 名）

## 4. プログラム

司会：井岡 亜希子（琉球大学医学部附属病院がんセンター 特命助教）

## ・講演

「在宅医療の実際」

喜納 美津男 氏（きなクリニック院長）

「沖縄県がん対策推進計画（第 2 次）中間評価－在宅医療について－」

井岡 亜希子 氏（琉球大学医学部附属病院がんセンター 特命助教）

「在宅医療をめぐる“ものがたり”の倫理～人生を紡ぐことの意味を考える～」

金城 隆展 氏（琉球大学医学部附属病院 地域医療部 臨床倫理士）

## ・総合討論

(パネリスト)

喜納 美津男 氏、金城 隆展 氏、西銘 純恵 氏（沖縄県議会議員）、増田 昌人、井岡 亜希子

## 5. ご意見シート集計

ご意見シート回答数：6 名

## 【問 1】第 2 次沖縄県がん対策推進計画について

1. 知っている：3 名 2. 知らない：2 名 ※無回答：1 名

## 【問 2】第 2 次沖縄県がん対策推進計画の内容について

1. とても満足：0 名 2. 満足：0 名 3. ふつう：1 名

4. すこし不満：0 名 5. 不満：0 名 6. わからない：2 名

## 【問 3】「在宅医療」のイメージについてお聞かせください。

・訪問して診療する医療

・本人がおだやかな最期を迎えることができる。患者家族などの後悔が残らない（十分な支えが必須）。

- ・介護のイメージ（認知症のお年寄りの面倒を見る等）があります。在宅での「医療」とは、どんなものになるのでしょうか。
- ・少しわかりかけてきた。まだまだ理解が必要。
- ・まだまだ一般の方に周知されていない（病院関係者にも）。

**【問4】「在宅医療」について、疑問に思っていること、お聞きしたいことがございましたら、ご記入ください。**

- ・機会あるごとに学んでいきたい。自分の住む町では具体的にどのようなに行っているか。
- ・関係機関や職種・地域をどのように巻き込んでいくか。
- ・社会資源の少ない環境での取り組み・工夫等はどのような方法があるのか。

**【問5】あなた、もしくはあなたの身近な人の病気によって思ったことやわかったことを教えてください。**

- ・身近な人の病気は、相手の人生に思いをはせたり、お互いの関係を考え直すきっかけになると共に、自分の生き方をどのようにした方が良いかを意識する。
- ・病院スタッフが看取りに対応できていない（ケアに関して、鎮静について、心理的、精神的フォロー、家族ケア）
- ・医師の説明を聞いても十分に理解できない人が多い。医師によって説明の度合いも違う。

**【問6】第2次沖縄県がん対策推進計画及び中間評価（案）をお読みになって、「在宅医療」について、何かご意見がございましたら、ご記入ください。**

<不十分と思うこと>

- ・まだまだ24時間対応できる医師が少ない。
- ・多くが不十分だと思う。アウトカムをよりよいものにするには多くの人の意見や声を取り入れる必要があると思うが、報告会では常に少人数だし、広報されることがないのではないか。
- ・在宅医療を推進されますが、小児がん、40歳未満の若年齢の方への介護や福祉用具の貸与についても検討していただきたい。

\*回答者について

ご家族などを、がんで亡くされた方／がん患者支援者、ボランティア：1名、  
医師会、看護協会などの職能団体：1名、在宅緩和ケアスタッフ1名、その他1名、無回答2名

\*回答者のお住い

那覇市：1名、南風原町：1名、名護市：1名、無回答3名

第17回 沖縄県のがん対策に関するタウンミーティング アンケート  
 テーマ『沖縄県がん対策推進計画(第2次)中間評価ー在宅医療について』

1. 日 時:平成27年11月15日(日)13:00~16:00
2. 場 所:浦添市てだこホール 生涯学習棟2階 多目的室1
3. 参加人数:16名(一般6名、医療関係者 8名、政党・自治体関係者2名)
4. アンケート集計  
 回答者数:5名

【問1】本日のタウンミーティングをどこでお知りになりましたか。

チラシ・ポスター	2
新聞・広告	0
知人の紹介	2
ホームページ	0
その他	1 (ダイレクトメール)

【問2】本日のタウンミーティングにいらした理由を教えてください。(複数回答)

テーマに魅力を感じた	3
講師に魅力を感じた	2
知人からの薦め	1
その他	1 (がん対策の中間報告としてどの程度進んでいるか?)

【問3】本日の講演についてのご感想をお聞かせください。

非常に参考になった	3
まあまあ参考になった	2
普通	0
あまり参考にならなかった	0
参考にならなかった	0

【問4】本日の講演を聴講してみて、「在宅医療」についてあなたのご意見をお聞かせください。

- ・体制を整えながらも啓発活動が行えるとよいと思います。
- ・病院で勤務しています。いろいろな話を聞かせていただき、勉強になりました。ありがとうございました。在宅へもどっていただく際に、市町村によっては介護保険の申請が厳しいところがあり、早期に在宅へもどることが難しい現状もあります。行政の方と早期に対応できるようなシステムができるとういと感じました。
- ・いろいろなケースを受け入れることを知り感心した。その中で在宅医療を進めていく中での困難事例の取り組みが聞けたら良かったです。金城先生の「倫理」のお話、とてもよかったです。再度何らかの勉強会に参加したりし、先生のお話を聞くチャンスを得たいと思います。
- ・現在の医療制度では、患者が希望する家での看取りについては明らかに不足している部分が多すぎている。家族としては在宅医療の気持ちはあっても、そこに踏み切るまでがきびしい。十分に安心して、家での看取りができるようなサービスの周知をしてもらえると、もっと先に進めるのではないかな。

【問5】今後、がん医療に関して取り上げて欲しいテーマなどあれば教えてください。

- ・家族の関わりや社会資源の少ない状況等の事例に対する工夫など。
- ・エンド・オブ・ライフに関すること。
- ・県内の交流拡大(がん患者同士の)
- ・がんを持つ親の子どもたちのケア。医療者と教育者との連携等。

【問6】回答者について

- ・がん患者、がん経験者:1名
- ・ご家族などを、がんで亡くされた方/がん患者支援者、ボランティア:1名
- ・その他の病院:1名
- ・在宅緩和ケアスタッフ:1名
- ・無回答:1名

